

令和6年度卒業証書授与式・修了証書授与式

校長式辞

(令和7年3月21日)

本日ここに、松江工業高等専門学校・本科生
185名が卒業し、専攻科生34名が修了しま
す。

本科生は、機械工学科37名、電気情報工学科¹3
7名、電子制御工学科37名、情報工学科35
名、そして環境・建設工学科39名です。

卒業生および修了生の皆さんを、無事に松江
高専から送り出すことができることは、私たち
教職員にとって大変喜ばしいことです。ここに、

国立松江工業高等専門学校を卒業および修了
される学生の皆さんと、保護者の皆様に、
松江高専の教職員を代表して、心からお祝い申
し上げます。

皆さんは、この5年間あるいは7年間、松江高
専で、教養教育や実践的な専門教育だけでなく、
クラブ活動、ロボコン・プロコン・デザコンなど
の種々のコンテスト活動、インターンシップ、海
外研修などの貴重な体験を沢山されたと思いま
す。

入学直後の1年生の前期は、コロナ禍により
初めてのオンライン授業など、かなりの制約を
余儀なくされましたが、皆さんが中心となって

運営された学生会、寮生会、コロナ禍後に再開された高専祭などは、大変頼もしく感じました。

また、卒業研究や専攻科の工学研究では、学術研究はもちろん、地域課題を解決する社会実装に至る幅広いテーマに取り組み、これらの成果は学協会の優秀研究発表賞などに輝いた方も多数いました。これらの研究開発、課題解決型の取組は、本校の教育目標の合い言葉

「学んで、創れる、エンジニア」としての素養を積極的に身につけることを意図しています。

これは時代の変化に対応する力、あるいは自ら考え課題を解決する力を身につけるもので

す。やり抜く力の源泉でもあります。

これから、皆さんは就職、あるいは大学編入学、専攻科や大学院に進学されますが、今後、多くの選択を迫られると思います。時代の変化は非常に早く、現時点では想定できない、これまでの延長線上にない未来が待っています。

その時に、短期的な損得ではなく、人生の構想力、すなわち、人が「よりよく生きる」ことができる社会をイメージし、どのように自分の人生を構想するかを問いかけてください。

一度しかない人生を、どのように生きていくかを常に考え行動することです。人生の構想力、

すなわち、何が自分を高めてくれるか、また、将来に渡って何を目標にしたいかを明確にして、種々の選択をするとういと思います。今から自分自身を見つめて、何を選択するかをじっくりと考えて、皆さんの夢や志を実現してください。

大きな決断をするときに必要であれば、松江高専に帰ってきて、教職員に相談することも大いに歓迎します。高専で得られた友人や同窓会を大切にすることによって人的なネットワークもできます。この3月で、創立「満」60周年を迎えた松江高専は、今後もずっと皆さんの味方であり心のふるさとであり続けます。

夢と高い志を持ち、そのために日々のやるべき事を着実に言い、みのり豊かで、社会に貢献できる人生を送られることを強く希望いたします。

卒業生および修了生の皆さんのこれからの洋々たる前途を祝すとともに、今後のご活躍を心から祈って、校長式辞といたします。

6

本日は誠にめでとうございます。

令和7年3月21日

松江工業高等専門学校

校長 和田 清